

## 宮崎県における令和7年国勢調査広報業務委託 企画提案競技審査基準書

項目	内容	配点
<b>1 基本事項</b>		
コンセプト	・事業内容（仕様書等）を十分理解しているか。 ・単なる告知ではなく、国勢調査の意義や役割・重要性を県民に的確に伝え、多くの県民の回答意欲を促す内容となっているか。 ・メッセージが明確で、インターネットでの回答意欲を促す企画提案となっているか。	10
経験等	・これまでに類似業務の実績があるか。 ・類似業務の実績と経験に基づいた提案がされているか。	5
<b>2 企画内容</b>		
テレビCMの放映	・調査スケジュールを踏まえて効果的な出稿先、放映時間となっているか。	20
SNS等インターネットを活用した広報	・媒体の選定や配信の時期について、調査スケジュールを踏まえて効果的な内容となっているか。	20
広報誌等を活用した広報	・広報媒体の配布部数や配布箇所について極端な地域差が出ないように配慮するとともに調査のスケジュールを踏まえて効果的なものとなっているか。	20
交通広告	・事業者や掲出場所、時間帯、回数等について、極端な地域差が出ないように配慮するとともに調査のスケジュールを踏まえ、効果的なものとなっているか。	20
懸垂幕	・懸垂幕は効果的なデザインとなっているか。 ・仕様書の内容に沿った掲示期間となっているか。	15
県広報パネルの制作、設置および撤去	・パネルのデザインは、庁舎内に設置しても自然であり、かつ来場者の目を引く工夫がなされているか。	15
広報キャンペーンイベントの企画・運営	・広く県民が参加するイベントとなっているか。 ・実施地域は県北・県央・県西エリアで1回以上の開催となっているか。 ・インターネット回答体験の仕組みが取り入れられているか。 ・必要に応じてイベント等で配布する広報物や啓発資材の作製がなされているか。	20
ポスター・リーフレットの配布	・広く県民が目にするように効果的な場所が選定されているか、極端な地域差が出ないように配慮されているか。	15
自由提案	・必須項目以外に、県民へ国勢調査の周知を図るための効果的な独自の広報手法が一つ以上提案されているか。	20
<b>3 業務管理体制</b>		
実施体制	・責任者や県との役割分担等が具体的に示され、県の要請に応じて即時の対応ができる体制が整っており、本業務を確実に履行できるか。	5
業務計画・作業行程	・契約期間内で成果を最大化できる適切なスケジュールを立てられているか。 ・全体スケジュールおよび進行管理について具体的に記載されているか。	5
<b>4 見積価格</b>		
経済性	・経費の積算が企画内容に対し妥当なものとなっているか。また節減が図られているか。	5
	・提案価格に優位性はあるか。	5
合計		200

## 【審査方法】

- 委員は、各項目について審査を行い、採点する。
- 全ての委員の点数を集計する。
- 集計の結果、合計点数が最も高い参加者を受託候補者として決定する。なお、点数が同点の場合は、委員の協議により決定する。
- 委員の合計点数が最低基準点である960点（満点1,600点×6割）以上になった参加者がいなかったときは、受託候補者を決定しない。
- 参加者が1者だけの場合、委員の合計点数が最低基準点である960点（満点1,600点×6割）以上になったとき、その参加者を受託候補者として決定する。

## 【評価基準（5段階）】

基準	5点満点	10点満点	15点満点	20点満点
5 標準より非常に優れた提案	5	10	15	20
4 標準より優れた提案	4	8	12	16
3 標準的な提案	3	6	9	12
2 標準よりもやや劣る提案	2	4	6	8
1 標準より劣る提案	1	2	3	5